

四卒の辞典は、辞典でなく論文であった

ホツマツタエ史学研究会 吉田六雄

はじめに

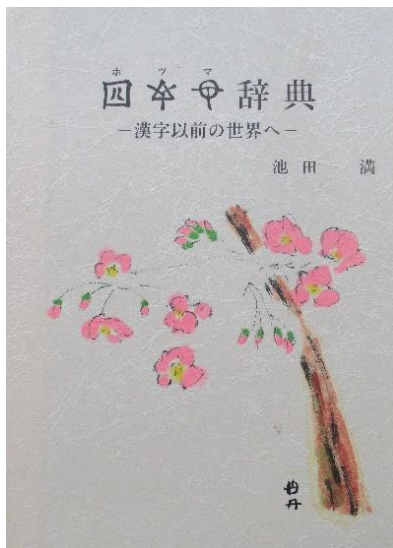
ホツマ辞典を購入したのは、今から23年くらい前と思う。池田氏より赤坂に紹介があり2冊購入した。私もホツマに出会って6年くらいだったので、先輩の知恵と思い購入したと思う。また、氏よりのメールでも本中に「暦を記載した」旨のことが書かれていた。だが、ホツマ辞典と云う名であるが、松本先生の解説は根拠がある解説を見慣れていた筆者には全般的に不満足であった。その不満を指摘すると、解説欄の末尾に引用したアヤ番号は記述されていたが、「アヤ番号の文章をどのような根拠でどのように解説したかが読み取れない」解説であった。そのため、筆者のホツマの研究時間を減らさないためにも、積読辞書となって23年くらい経った。

勉学のすすめ

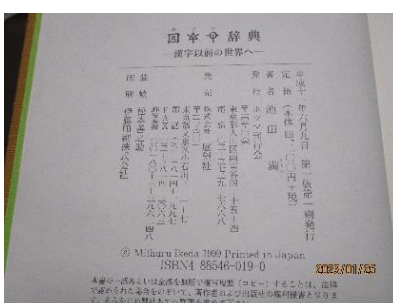
筆者も28年間のホツマ生活も3月で終わる。そこで、これまでの研究生活より取得した英知より「ホツマツタエ入門書 勉学のすすめ」を出筆した。そのため、23年間放置した「四卒の辞典」をめくって見た。

ホツマ辞典

そこで、メリハリが不明な「暦」のページを目にした。そこで、本中に記載される氏の履歴を調べると、ホツマに出会ったのが1972年、四卒の辞典の完成が1999年、その間、28年間であった。そして、本中の氏の暦に関する説明を抜粋すると、「スス暦、アスス暦」は解説には、「ほど遠かった」。本居宣長と同じで、「教本を転機したまま」に近く、筆者と同じ28年を経過していたが、暦が解説されてなかった。



四卒の辞典（本ケース(表)）
池田 満

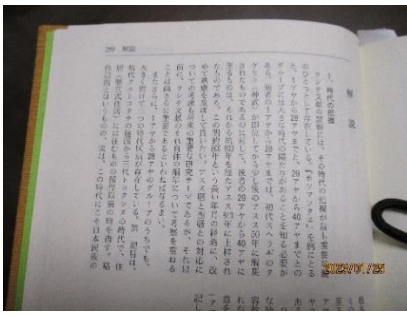


末尾

製本、印刷履歴

平成11年6月9日第1版第1印発行

259p



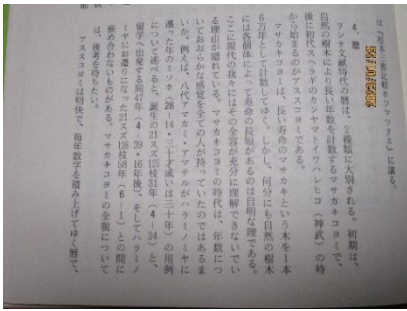
抜粋内容

アスス 843 年に上辞され・・・この間約 800 年という長い年月の経過に、・・・アスス暦と西暦との対応に・・・将来の重要な研究テーマであるが、それ以前に、ヲシテ文献それ自体の編年について考慮を重ねることは・・・重要・・・。

コロント

辞書としては、アスス暦と西暦の対比が完了し、読者に説明できていること必要である。本文は辞書というより論文である。

263p



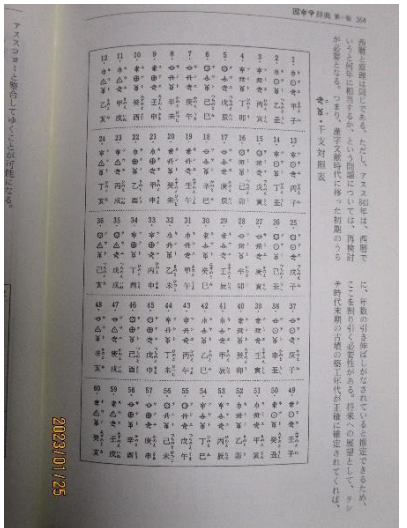
抜粋内容

誕生の 21 スズ 125 枝 31 年と、留学へ出発する同 47 年、そしてハラミノミヤお還りになった 21 スズ 126 枝 58 年との間に嵌め合わない・・・。マサカキコヨミの全貌については、後考を待ちたい。

コメント

スス暦の全貌が解明されてない。そのため、辞書というより本文も論文である。

264p



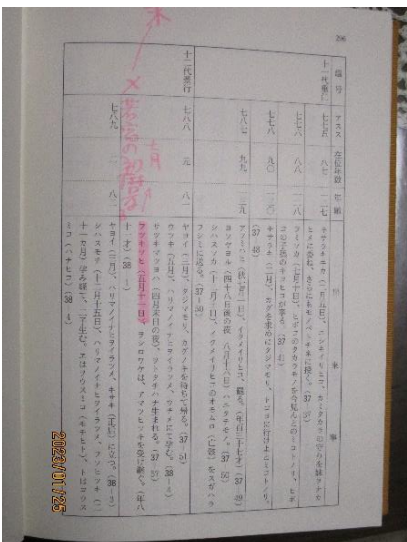
抜粋内容

アススコヨミは、・・・西暦と原理は同じである。ただし、アスス 843 年は、西暦でいうと何年に相当するか、という問題については、再検討が必要になる。

コメント

ホツマツタエを歴史書と思えば、語彙の解読研究の前に、アスス暦の解読、日本書紀暦との対比、日本書紀暦の欠点を解読するのが先であろう。況して、アススが解明できてないため、辞書に記載の必要なし。

296p



抜粋内容

アスス 788 年元年に 5 個の暦日が記載されている。

- ・ヤヨイ(弥生)・・・37-51、
- ・ウツキ(五月)・・・38-4、
- ・サツキマツヨハ(四月末日の夜)・・・37-57、
- ・フツキシヒ(五月十一日)・・・38-1

コメント

788 年は、6 月と 7 月で天皇が交代しており、7 月以降が初年、元年であるか否か不明。先帝の多くの天皇は、翌年が元年である。

垂仁天皇

- ・明る(100 穂、788 穂)春ヤヨイ(弥生)・・・37-51
- ・サツキマツヨハ(五月末日の夜)・・・37-57

景行天皇

- ・アスス 788 穂フツキシヒ(七月十一日)・・・38-1
- ・2 穂 3 月・・・38-3
- ・コゾウツキ(去年四月、1 穂 4 月と正しい)・・・38-4
- ・3 穂春キサラギハツヒ(如月初日)・・・38-6